

PTAだより

KAKAMIHARA HIGH SCHOOL / General Course, Science and Mathematics Course, English Course

第119号

平成28年12月14日

編集発行

岐阜県立各務原高等学校

PTA



▲ 10月25日 球技大会

学校行事に参加して



PTA会長
高橋 昌嗣

PTA会員の皆様には、日頃よりPTA活動にご理解とお力添えを賜り、厚く御礼申し上げます。十月八日に行われました、「学校・地域をきれいにする日」をもちまして、本年度のPTA行事は終了を迎えました。全行事を無事に行うことが出来たのは、ひとえに会員の皆様のおかげであることより感謝申し上げます。

本年度の行事を振り返ってみますと、入学式から始まりPTA総会、挨拶運動、校外研修、新生祭、体育祭、PTA研修会、学校をきれいにする日等、多くの行事がありました。

挨拶運動では、校長先生自らが校門の前に立ち、交通指導をしてみえる姿がありました。また、子ども達が明るく挨拶をしてくれ、元気をいただきました。

新生祭のカレーバザーでは、子ども達だけではなく、卒業生や保護者の皆様等、大変多くの方にお召し上がりいただきました。

新生祭ラストを飾る体育祭では、応援合戦の審査をさせていただきました。どの団も一致団結した素晴らしい演技でした。

PTA研修会では、『全員の僕が弁護士になった理由』の著者である大胡田誠先生ご夫妻をお招きし、子ども達と合同の研修会を行いました。講演の中で、大胡田先生より「迷った時には、自分の心が温かく感じる方を選びなさい。」という言葉をご紹介いただきました。選択の基準は、色々あると思います。しかし、私達の多くは、損得で判断をしていることが多いと思います。そして、その為の間違った判断をしてみました。迷ったこともあると思います。迷った時には、少し立ち止まって「心が温かく感じる方」を選ぶ、という判断が大切なことだと感じるとともに、自らの在り方を顧みる機会となり、大変学びの多い研修会でした。

これらの行事全てにおいて、先生方や役員の方々に多大なるご尽力をいただき、ありがとうございます。

これより先は、今年度の残りの業務の円滑な運営と、来年度に繋げるための協議をして参ります。一、二年生の保護者の皆様には、来年度以降も、これまでと変わらぬお力添えをお願い申し上げます。

生き方に学ぶ



校長
杉原 整

本年度は、ふたつの講演会を実施させていただきました。これもPTAの皆様のご理解、ご協力の賜物であります。心より感謝申し上げます。

ひとつは、PTA研修会(9/30)。全盲の弁護士としてテレビドラマにもなった大胡田誠様のご講演と、奥様で全盲シンガーソングライターとして活躍されている大石亜矢子様のコンサートを楽しむ機会をいただきました。大胡田先生、大石亜矢子様のこれまでの生き方、毎日の生活、子育ての様子等を優しい音楽とDVD、丁寧に選ばれた言葉に伺い知ることができました。心の深いところから熱いものが広がりはじめ、ご講演終了時には会場全体が温かさに包まれていました。もうひとつは進路講演会(10/31)。浅野燃系社長、浅野正巳様にご講演いただきました。一九九〇年代から始まる激動の繊維業界の中で、夢を現実に変えていく生きざまの迫りに圧倒されました。ご講演の中で、流通評論家 吉田卓雄氏の「夢八訓」①夢ある者には希望あり②希望ある者には目標あり③目標ある者には計画あり④計画ある者には行動あり⑤行動ある者には実績あり⑥実績ある者には反省あり⑦反省ある者には進

歩あり⑧進歩ある者には夢がある。を紹介。いまだ「夢の途中」と言われた浅野様の言葉は、繰り返しの心の中に響いています。

著名な方々の講演会だけでなく、すぐ身近にいるクラスメートや先輩の活躍も、生徒の皆さんが自分の生き方を考える機会となりました。

十一月六日、長良川メドウには、ラグビー部を応援する数多くの生徒や保護者様、OBの皆様の姿がありました。強豪関商工から後半奪った2トライには、本校ラグビー部員だけでなく、応援する生徒の思いがありました。涙をおさえきれない選手の姿をじつと見守る生徒の姿がありました。各務原らしい礼儀正しさとやり切る充実感を共有しました。

十一月十二日、同じく長良川メドウには、決勝戦を迎えたサッカー部の応援団が詰めかけていました。前半の劣勢を跳ね返す後半の戦いを、スタンド一杯の応援団が後押ししました。善戦むなしく敗れはしましたが、最後までやり切った本校サッカー部の姿

一部に大きな拍手と声援が送られました。各務原らしい勇気と誇りがありました。頑張る



▲ 10月31日 進路講演会

仲間を応援する文化が本校にはあります。野球場や体育館にも、弓道場や音楽ホールにも仲間の応援があります。進路指導室隣の学習室や三年生各教室にも頑張る仲間がいます。「仲間を応援していると、自分が頑張る勇気が湧いてくる。」と語ってくれた生徒がいます。無意識のうちに仲間の生き方に

自分の生き方を重ねて、自分自身の生き方を前にすすめているのだと思います。「各務原らしさ」をここにも見つけました。

平成二十八年度も余すところ三か月。生徒の皆さんのさらなる可能性への挑戦を期待しています。私たち職員も全力で支援して参ります。

全国高P連 千葉大会

PTA副会長
津田 忠孝

第六十六回全国高等学校PTA連合会千葉大会が、八月二十五日から二十六日まで、幕張イベントホールをメイン会場として、全国より一万余りが集い開催されました。

開会式後の全体会では、千葉敬愛短期大学長の明石要一氏の基調講演を拝聴しました。演題は「高校生の自立を支援するPTA活動の在り方」。PTAには、基本的な生活習慣の徹底化、ボランティア活動への参加促進、「褒めて、叱って育てる運動」の促進。この三つの役割を担ってほしいとのお願い

がありました。高校生にも学力、体力だけでなく、体験の世界でも格差が生じている。一億総活躍社会の実現には格差の是正が必要であり、高校生を元気にするアクションプランの推進が求められる。また、二つの風(家風、校風)と一つの色(地域色)で子どもを育てるのが大切だと話しをされました。

午後の分科会では「情報機器と学校教育」をテーマに高校生のスマートフォン利用の状況と必要な対応についてパネルディスカッションが行われました。近年、高校生のスマートフォン所持率が激増し、長時間利用、犯罪被害やネットいじめなど、ネット利用に関わる問題が深刻化しています。その問題解決に向けて保護者、先生、そして現役高校生がパネリストとして、それぞれの立場からの意見を出し合いました。会場の参加者もツイッターを利用し、この討論会に参加できるなど工夫も多くみられました。

二日目は、女優の市原悦子氏の記念講演が行われた後に閉会しました。

大会テーマは、「再発見! 愛」今こそ信じよう愛の絆。子どもたちを支えていく、「学校」「家庭」「地域社会」とのつながり、「愛の絆」を確かなものとするために私たち大人ができることは何か。また、大きく変化していく社会情勢の中、不安を抱えて生きていく子どもたちへの教育に、今何が求められているのか。という課題を考えていく機会となりました。この研修の成果を、今後のPTA活動のさらなる発展に活かしていきます。

PTA研修会で学んだこと

PTA副会長

棚橋 雄二

「だれもが自分らしく生きるために」

～全旨の僕が弁護士になった理由～

講師 大胡田 誠氏

大石 亜矢子氏

最初に大石亜矢子さんの澄んだ歌声が体育館に響き渡る。彼女の歌は人間の弱さや強さを優しく見つめながら表現されているので、ずいぶん心に響きました。

そして、視力を失いながらも弁護士として活躍される大胡田誠さんの講演です。特に印象的だったのは、彼自身がとても前向きな人物であるということです。「限界の自分も一歩でゴールできると思える。どんなに苦しくても諦めなす。これが、私が生徒諸君に伝わってほしいと願ったメッセージでした。人生は誰かに創ってもらおうわけではない。どんな境遇であるかが自身で道を創るしかないのである。

さらに共感できたのは、彼のお母様の言葉です。「道に悩んだら心の温まる方を選びなす。」「損得ではなく自分の心が望む選択肢を見極めるための大事な言葉ですな。」

親から教えられた大事な言葉、子どもに伝えたい大事な言葉、生徒達だけでなく、我々も大切なことを学ばせていただけただけ有意義な研修会でした。ありがとうございました。



PTA研修会 生徒の感想より

三年 牛田 有紀

自分にとっては当たり前でも、それが当たり前でない人がいる。改めて知り、様々なことを考えさせられました。

岐阜県では、目の不自由な方が、他者に助けを求めるときの動作をつくり、全国に向けて発信しています(白杖を両手で持ち、胸の前にかかげます)。そのときに同じ人として少しでも助けになれるよう行動していきます。

二年 山本 萌夏

先日は本当にありがとうございました。大石様のすばらしい演奏、そして大胡田先生のご講演、本当にためになりました。

「特別扱いしない」という特別」という言葉を伺って、「私はどうなのだろうか」と、改めて考えさせられました。これからはもういっしょに活躍したいです。応援しています。

二年 高垣 尚史

私は大胡田先生の「日本は公共のバリアフリーは進んでいるが、心のバリアフリーのための壁はまだ分厚い」という言葉を聞いて、障がい者に対する日本の厳しさを実感しました。しかし、「特別扱いをしないことが特別扱い」という言葉にとっても感動し、どんな人にも、人として同じように接することの大切さを感じることができました。

ありがとうございました。



「学校・地域をきれいにする日」

評議員

山口 恭代

十月八日(土)、あいにくの天気となり、予定していた地域清掃は行えませんでした。生徒有志、保護者有志、先生有志、多くの方々の参加で、校内をきれいにする活動が行われました。

一人で黙々と作業する生徒、数人が集まり連携を取りながら作業する生徒達の姿は、とても頼もしく感じました。生徒・保護者・先生で協力しながら取り組むこの活動を通して、普段はなかなか目にする機会がない、素晴らしい生徒の姿を垣間見ることができました。こうした生徒達の姿は、まさに、学校・私達保護者、さらには地域の宝物です。

先日、「環境整備が成功する原理原則」の研修を受ける機会がありました。環境整備には、物的・人的・情報環境整備の視点があり、「整理・整頓・清掃・清潔・躰」と、礼儀「笑顔で挨拶」運動を教育し、実践する事の総称との考え方があります。環境整備は人を変え、環境が変われば人の心も変わります。この機会に、自分自身の「環境整備」について考え、実践してみたいです。

今年も多くの有志の方々の助けを借り、学校をきれいにすることができました。本当にありがとうございました。来年も多くの方々の参加をお待ちしています。



文化祭

総合大賞



3年8組「美女と野獣」



書道部パフォーマンス

文化祭総合大賞

「受賞に際して」

三年八組

安藤 瑠乃

「総合大賞は……。」のアナウンスの時、私達は、きこ他のクラスが受賞するだろうと思ひ、半ば諦めていました。しかし、その先に続いたのは、三年八組の「美女と野獣」の受賞を告げる言葉でした。

三年八組は、個性的なメンバーが多く、楽しいクラスである一方で、まとまりに欠けるところもありました。しかし、賞を獲得することを目指すのではなく、クラス全員が楽しめる文化祭にしようという目標をもち、取り組みました。そのために四十人全員が舞台上立つこと、そして、最後まで全員で踊ることを決めました。さまざまな取組の過程で、意見が食い違つこともありました。けれども、本番が近づくとつれて、少しずつみんなの気持ちが一つになっていくのが分かりました。そして、今年のあの暑い夏に負けない程の熱い思いをもち、全員が心を一つにして練習に取り組みました。

私達の劇に対する思いの高まりやクラスの仲間を思う気持ち、私達を総合大賞に導いたのだと感じています。三年間、色々なことがありましたが、なかでもこの文化祭は、いつまでも忘れられない一番の思い出となりました。個性豊かな私達を温かく見守り、ときには厳しく指導してくださった渡辺先生、吉長先生への最高のプレゼントとなりました。今回の受賞を、本当に感謝しております。ありがとうございます。

ステージ部門 金賞 3年1組「Flower Boys」



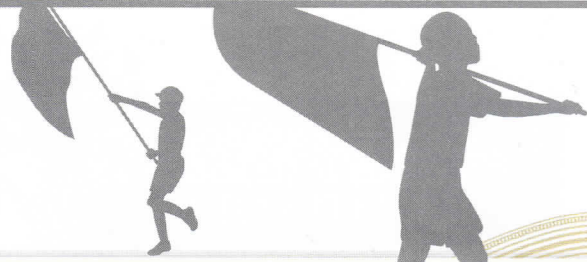
展示部門 金賞 3年4組「まちかどジブリ」



垂れ幕部門 金賞

3年6組「イントゥザウッズ」

体育祭



青団

「全力」

団長 三年三組
太田 貴文

体育祭のために、準備やグラウンド整備をしてくださったみなさん、本当にありがとうございました。昨年には三冠を取れなかったのですが、今年こそ絶対に三冠を取ろうと思っていました。夏休みが明けて団席との振り付け練習が始まりました。最初はまとまりがなく、応援団が必死になつて話しているのに、それに応えてくれない姿もあり、うまく進められないことだらけでした。しかし、何度も団席に声をかけ、次第に応援団の思いが伝わっていくようになり、振りも全体でそろっていくようになりました。

体育祭当日、競技は今一つといわれていた青団でしたが、学年関係なく励まし合い全員で応援し、全ての競技を全力で取り組みました。応援合戦では、始まる前に団席が「援団がんばれ！」と声をかけてくれ、五分一秒間の心と動きが揃った応援合戦ができました。終わって団席に戻ると「サンキュー援団」と全員が応援団に向けて言ってくれ、すごくうれしかったです。

結果は見事三冠を取ることができました。全員の気持ちが一つになった、最高の体育祭、最高の青龍団でした。全員で力を合わせれば、どんなことも成し遂げられます。来年は三冠連覇を目指してください。



赤団

「感謝」

団長 三年八組
朝倉 滉生

はじめに、選手宣誓にも込めましたが、体育祭開催にあたり、グラウンド整備をしてくださった強化部をはじめとする各部活動のみなさん、冊子作りや運営を進めてくださった生徒会役員のみなさん、先生方、本当にありがとうございました。

今年の応援団はどの団よりも人数が少なく昨年の約半分でした。練習時間も確保できず、整えきれない環境での練習に歯がゆさを感じ、援団内でぶつかり、良い方向に進めない時期もありましたが、全員で乗り越えようと奮闘してきました。団席を含めた応援練習が始まると、女団長、応援団長を中心に全員で声を出し、団席の中でも積極的に声を出してくる子が、あまり声を出すのが得意でない子へもよい影響を与えてくれて、徐々に鴉夏団が一つになっていきました。本番では団席のみならず他の団に負けない大きくて力強い声を出してくれたいかげで、素晴らしい演舞になりました。

団席の皆さん、応援団についてきょうございました！鴉夏団最高です！



黄団

「感謝」

団長 三年一組
今枝 俊輔

まずは、体育祭の準備にあたって、強化部をはじめとする生徒の皆さん、また先生方ありがとうございました。周りの方々に支えられたからこそ体育祭だったと思います。

今年の夏は、暑い日が続きましたが、それでも団員のみなさんは練習に一生懸命取り組んでくれました。本番の応援合戦では、仲間が僕達の緊張と不安を和らげてくれました。小さなミスをしてしまい、優勝を逃してしまったことが、とても悔しいです。特に援団のみんなには、どの団よりも練習しましたし、仲間とぶつかりあったことも何度もありましたが、それらを乗り越えてきたからこそ、悔しさが人一倍あったと思います。勝負の世界はそんなに甘くないということを実感しました。

僕たち三年生は、三年間で一度も栄冠を手にする事ができませんでした。しかし、楽しい、良い思い出を作ることができました。来年こそは、三冠を取ってほしいです。最後に、団員そして援団のみんなに感謝の意を表します。ありがとうございます。



ケンモア高校研修

(8月1日～8月9日)



記念植樹



集合写真



お別れ会



30周年記念歓迎会



歓迎会での代表スピーチ

MS リーダーズ活動



命を守る訓練 (11月9日)



部活動・弓道部



各高アラカルト

中学生一日入学・理数科 (10月4, 5日)



課題研究中間発表・理数科

東海大会に出場して

剣道部 三年一組
有嶋 督

「東海大会出場」という目標を掲げ、昨年度に三年生が引退してからずっと努力を重ねてきました。その甲斐あって、岐阜地区大会では準優勝、新人戦ではベスト8と着実に力をつけることができました。そして、今年度行われたインターハイ県予選ではベスト8を決め、念願の東海大会出場を果たしました。こつこつと目標を達成することができたのは、山田先生や立川先生、平澤先生、梅原先生のご指導の賜物であり、家族や仲間への支え、応援してくださった方々のおかげです。ありがとうございました。

剣道部で過ごした時間は、とても濃密なものでした。当初は、学年で男子は私一人でした。不安でいっぱいでしたが、同学年の女子や先輩方、先生方に支えていただきました。厳しく辛い稽古もありましたが、目標達成のために頑張ってきました。私の一番の強みは、教えられたことをすぐに吸収できることだと思えます。学んだことを自分の武器にできるよに何度も稽古を積み、日々内容の濃い稽古ができました。

私は東海大会で勝つことができなかったのですが、後輩達にはぜひ、東海大会に出場し、勝ち抜いてもらいたいと思います。



平成28年度 各務原高等学校部活動の成績

(平成28年6月～11月 県大会ベスト8以上)

■体育系

部 名	成 績 内 容 等
サ ッ カ ー 部	全国高校サッカー選手権大会 岐阜県予選 2位
ラグビーフットボール部	全国高校ラグビー選手権大会 岐阜県予選 3位
男 子 テ ニ ス 部	全国・東海高校総体岐阜県予選 テニス部 男子団体 ベスト8 平成28年度 岐阜県高等学校テニス新人大会 男子団体 3位 平成28年度 岐阜県高等学校テニス新人大会 男子S ベスト8 平成28年度 岐阜県高等学校テニス新人大会 男子D ベスト8
弓 道 部	平成28年度 グローアッププラン強化試合 男子団体 3位 女子団体 優勝 全国高等学校弓道選抜大会県予選 男子団体 2位 (東海大会出場) 全国高等学校弓道選抜大会県予選 女子個人 3位 篠原 彩音 東海高等学校弓道選抜大会 女子個人 5位 篠原 彩音
剣 道 部	東海高校総体剣道競技 男子個人 有嶋 督 出場
水 泳 部	岐阜県新人戦 女子100m背泳ぎ 7位、8位 女子400m自由形リレー 6位 女子50m自由形 5位 女子200m平泳ぎ 6位、7位 女子100m平泳ぎ 5位

■文化系

部 名	成 績 内 容 等
美 術 部	岐阜地区高校美術展 優秀賞 安藤 瑠乃 奨励賞 横山 みな美
放 送 部	NHK杯全国高校放送コンテストアナウンス部門 長谷川 侑由 出場
囲 碁 部	岐阜県高等学校総合文化祭囲碁新人大会 男子個人 2位 若林 潤 (東海大会出場) 岐阜県高等学校総合文化祭囲碁新人大会 女子個人 3位 牧田 悠里 岐阜県高等学校総合文化祭囲碁新人大会 男子団体 2位 岐阜県高等学校総合文化祭囲碁新人大会 女子団体 2位 東海高等学校総合文化祭囲碁新人大会 男子団体 6位 東海高等学校総合文化祭囲碁新人大会 女子団体 6位

■特別

部 名	成 績 内 容 等
レ ス リ ン グ	第4回全国高等学校女子レスリング選手権大会 福永 菜里 出場

学校改善を目指して

教頭 炭竈由彦

◎学校評議員会

学校評議員会は、学校の教育活動について、地域社会や有識者から幅広く御提言と御助言をいただき、生徒、保護者等の期待に応えられる開かれた学校をつくることを目的として毎年二回開催しています。

平成二十八年年度学校評議員の皆さま

- 稲川 和宏 (関係機関等代表)
- 上松 英隆 (関係機関等代表)
- 大野 正博 (学識経験者)
- 横谷 清美 (元PTA会長)
- 山本 浩示 (地域住民代表)

第一回は、六月二十四日(金)に開催しました。

第二回は、一月に、学校関係者評価委員会を兼ねて、開催する予定です。

なお、学校評議員会の内容については、各務原高校ホームページにて公開しておりますので、ご覧ください。

◎生徒及び保護者を対象とするアンケートについて

七月の保護者懇談の折に、生徒、保護者全員からアンケートを取らせていただきました。御協力ありがとうございました。その結果を「あてはまる」と回答があった数値の大きい項目と、「あては

まらない」と回答があった数値の大きい項目を下表に示しました。(A+Bの割合が高い項目は本校の取組が十分で、C+Dの割合が高い項目は不十分であると考へます)。

今回のアンケートでは、保護者・生徒ともに「本校では部活動が活発である」「お子様はよほど学校に行っている」「本校に入学できてよかった」項目で高い評価をいただきました。これは、日頃本校教育にご協力いただいております保護者の皆様、地域の方々、関係機関等のご支援の賜物であると感謝申し上げます。

一方で、評価の低かった項目は、「学校からの連絡が確実に届けられていない」、「一人一人の能力に応じた学習指導を行っている」、等でした。

学校からの連絡については、一斉配信メールサービスを一層活用することに加え、行事のお知らせ、部活動の成果などを速やかにホームページへ掲載するよう努めてまいります。

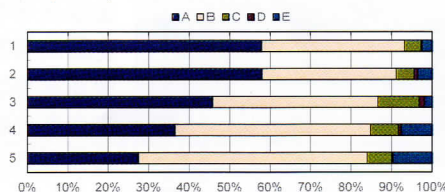
授業については、定期考査ごとにクラスで授業アンケートを実施し、授業改善に活かすほか、教員相互の授業参観・研究会の実施によって、授業の進め方をさらに研究、改善するよう努めます。

また、他の項目についても、より良い評価が得られるよう努力して参ります。

(すべての項目の集計結果は、本校のホームページをご覧ください。)

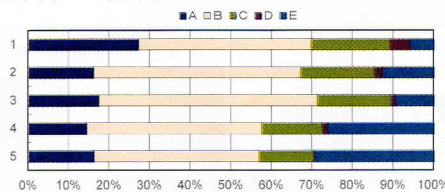
◆保護者対象アンケート(A+Bの多い項目) A:よくあてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:まったくあてはまらない E:わからない

NO.	項目	A	B	C	D	E
1	学校では、部活動が活発に行われている。	57.8%	35.4%	4.1%	0.3%	2.5%
2	一斉配信メールサービスは有効に活用されている。	57.9%	33.2%	4.4%	0.9%	3.5%
3	お子様はよほど学校に行っている。	45.7%	40.9%	10.2%	1.3%	1.9%
4	学校を訪ねたり、電話した時の学校職員の対応(明るい挨拶や丁寧な話し方)が適切である。	36.5%	48.3%	6.9%	0.7%	7.6%
5	学校の教育指導の重点「(1)学力の向上(2)人間性の向上(3)体力の向上」に共感できる。	27.5%	56.5%	6.0%	0.3%	9.6%



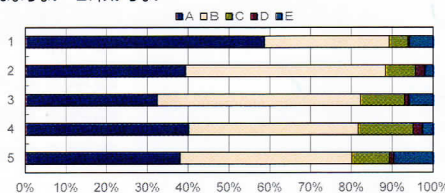
◆保護者対象アンケート(C+Dの多い項目) A:よくあてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:まったくあてはまらない E:わからない

NO.	項目	A	B	C	D	E
1	学校からの連絡文書等は、保護者(地域)に確実に届けられている。	27.2%	42.6%	19.4%	4.9%	5.8%
2	学校の教育方針や指導の内容を保護者(地域)に分かりやすく伝えている。	16.1%	51.1%	18.2%	1.8%	12.7%
3	学校は、保護者(地域)が授業や学校行事等を参観する機会等をよく設けている。	17.4%	53.9%	18.0%	1.2%	9.4%
4	授業を通して一人一人の能力に応じた指導を行っている。	14.4%	43.1%	15.0%	1.4%	26.0%
5	学校は、ボランティア活動の大切さを教えると同時にその機会を提供している。	16.3%	40.6%	13.5%	0.4%	29.2%



◆生徒対象アンケート(A+Bの多い項目) A:よくあてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:まったくあてはまらない E:わからない

NO.	項目	A	B	C	D	E
1	本校では、部活動が活発である。	58.6%	30.7%	4.6%	0.3%	5.9%
2	本校に入学できてよかったと思っている。	39.3%	49.1%	7.4%	2.3%	2.0%
3	本校では、社会のルールにふさわしい服装、頭髪等の指導を行っている。	32.3%	49.9%	10.8%	1.0%	5.9%
4	本校からの連絡文書等は、保護者に届けている。	40.0%	41.6%	13.5%	2.2%	2.6%
5	本校の生徒はよくあいさつする方である。	37.9%	42.2%	9.3%	1.0%	9.6%



◆生徒対象アンケート(C+Dの多い項目) A:よくあてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:まったくあてはまらない E:わからない

NO.	項目	A	B	C	D	E
1	総合的な学習の時間(「新生生タイム」)の内容は自分にとって有意義である。	15.8%	40.7%	24.4%	6.8%	12.2%
2	本校の先生は、授業等を通して一人一人の能力に応じた指導を行っている。	14.2%	39.4%	23.6%	4.2%	18.6%
3	家庭で学校に関する話をしている。	32.4%	39.9%	20.2%	6.2%	1.4%
4	本校では、清掃が行き届いており校内がきれいである。	19.3%	45.7%	22.2%	3.8%	8.9%
5	授業の教え方や説明が分かりやすい先生が多い。	16.5%	51.9%	22.0%	2.8%	6.8%

